4 豊かで平和な未来のために、互いに理解し、信じ合う大切さを伝えたい（りぷりんと・長浜　植谷善之　81歳）

『絵本　おこりじぞう』いかがでしたか。これから、おじいさんの子ども時代のお話をします。

一瞬に何万という人の命を奪うという、今までにないすさまじい力を持つ原子爆弾（当時は、ピカ・ドンと言っていました。）が、広島と長崎に落とされ、明治からの長い戦争の時代が終わりました。この『絵本おこりじぞう』は、広島で「わらい地蔵」と呼ばれていたお地蔵さんと、仲良しだった少女の短い生涯が終わる一瞬をとらえた悲しいお話です。

終戦は、私が小学校5年生の8月のことでした。その時、私の両親は中国大陸にいました。戦争にかり出されていたのです。祖父は日露戦争で戦死していたので、ガランとした家の中で祖母と二人っきりで過ごしていました。

私が小学校1年生の時、日中戦争に続いて太平洋戦争が始まりました。

「勝った、勝った。」という知らせが届き、日本は強い国だと聞かされ、みんな喜んでいました。そして「勝ってくるぞと勇ましく…」と歌い、日の丸の小旗を振りながら、隣のお兄さんや、おじさんを戦地に送り出しました。私の両親も私の知らない間にそのように送り出されていたようです。

ところが、4年生頃になると、村の忠魂碑という石塔の前でお葬式が続くのです。戦死した方の骨の入った白い四角い箱が並べられ、私達は「海ゆかば…」という悲しい歌を歌いました。

遠い戦地で、どんな戦争が行われているのか正しい情報は知らされていませんでしたが、「鬼畜米英」とか、「一億一心」、「我慢します、勝つまでは」というポスターがあちこちに貼られていました。

やがて、大阪の北野小学校の子ども達が集団疎開をしてきました。私達は友達が増えてうれしかったのですが、その子たちはみんな寂しそうでした。親と別れ、見知らぬ土地での不自由な生活が始まったのです。

5年生になると、教科書の代わりに、スコップや鍬を持って学校へ行きました。運動場を耕してサツマイモを作るのです。6年生は、近くの山に行って防空壕堀りです。しかし、その仕事もまともにできません。「空襲警報」のサイレンが鳴り響き、そのたびにみんなで近くの鎮守の森まで逃げるのです。アメリカの戦闘機が機銃掃射で襲いかかってくるからです。

月の出ている晩は、とても怖かったです。B29という爆撃機が、琵琶湖を目指してやってきたからです。夜、電灯の光が外に漏れると爆撃機に見つかり、爆弾を落とされます。電灯の周りに黒い布を張り、絶対に灯りが漏れないようにしていると、敵は琵琶湖に映る月の光を目当てにやってくるのです。何百という爆撃機がすごいプロペラ音をたてて、低空で襲いかかってきました。祖母の体にしがみつき、怖さをこらえていたのを覚えています。幸い、爆弾は落ちませんでしたが、福井や金沢、新潟などたくさんの都市が丸焼けになったということを後で知りました。

終戦から一年後の秋、両親が中国からやっと帰ってきました。家族がそろう日をどれだけ待ちかねたか。家族のぬくもりが、ひしひしと感じられた最高の日でした。中国の奥地で10年余り働いていた両親は、中国語を覚え、中国の人になりきったつもりで仕事をしたそうです。だから、帰国するときは中国の人から信用され、助けられて日本に帰ることができたそうです。

戦争は「憎しみ」から始まるようです。日本は、戦地で殺され、空襲で家も家族も失った人が何百万人も出る大きな戦争を経験しました。そして、もう二度と戦争をしないことを誓いました。戦争の怖さ、悲惨さを知ったからです。憎しみ合うことの愚かさが分かったからです。両親は、相手を信頼することを中国の人から学んだといいます。

終戦から70年が経ちました。戦争の怖さ、愚かさは忘れかけられているのでしょうか。世界各地でテロ、空爆、避難民という言葉をしきりに耳にします。地球のあちこちで、まだ憎しみ合いが続いているようです。日本はどうすればよいのでしょうか。小学校で学ぶみなさんはどうすればよいのでしょうか。おじいさんの小学校の頃の体験から一つの提言をします。「相手の立場を理解し、お互いに信じあうことです。」

6年生の時、両親が無事に帰って来ることができたのは、違う国の人でも、同じ人間だから、お互いに信じあうことができたからだと思います。おかげで、私の家は平和を取り戻すことができ、心豊かに暮らすことができました。そして、父は98歳、母は89歳と長生きをしました。そして私も今、81歳になりました。

『絵本　おこりじぞう』

山口勇子／原作　沼田曜一／語り文
四国五郎／絵　金の星社

1945年8月6日。広島の町角に立つわらいじぞうが見たものは、まるで太陽が落ちてきたとしかいいようのない光景だったのです…。作家と語り部と画家が悲しみと怒りをこめて描く入魂の絵本。（出版社HPより）

- 発　　行：1979年11月
- ページ数：36ページ（A4変型判）
- ＩＳＢＮ：978-4-323-00237-8